

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	学校給食運営事業	担当者	教育委員会	学校給食係
-------	----------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	1. 個性を尊重し、心豊かな人生を送れる村／教育文化の向上/学校教育の充実			
関連する主な計画等				
根拠法	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	小中学校児童生徒、浪合保育園園児			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供し、身体の健全な発達と体位の向上を図る。食材や生産者への理解を深め、食べられることへの感謝の心を育てるとともに、日常生活における食習慣の形成を図る。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食人数 共同調理場 622人 浪合調理場 81人</li> <li>・各小中学校と連携して、日常の食生活の大切さを家庭に伝えている。(学校保健協議会、試食会、給食だより)</li> <li>・農協や産業振興公社等を通じて、地元食材や伝統野菜の使用を増やすように取り組むとともに、月1回の「地域食材の日」を通して子どもたちに地元食材や伝統野菜の情報を伝えている。</li> </ul>
実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村が運営することにより、安価な給食を提供でき、親の負担を軽減できている。</li> <li>・食生活が乱れているといわれる中で、子どもたちの1日の栄養摂取量の補填ができた。</li> <li>・地元食材の使用を増やすことにより、安心安全な給食を提供できた。</li> </ul>

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	報酬	10,247	賃金	2,913	使用料	398
給料	12,365	需用費	9,134	負担金	8	
職員手当	5,281	役務費	789	公課費	43	
共済費	5,408	委託料	569			

  

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	実績額 (千円)	51,861	44,862	47,155	45,465
うち一般財源		51,861	44,862	47,155	45,465	46,000
うち補助金						
うち個人負担						
従事職員 (人)	正規職員	3	3	3	2	2
	臨時職員	6.5	6.5	7.5	8.5	8.5

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	住民からのニーズは従来どおり高い	A
	手段、成果は妥当か	a	ほぼ妥当である	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	当面は村が実施することが適切である	
有効性	期待された効果が得られたか	給食の残食量が減ってきており、一定の効果が認められる	B	
効率性	コストの削減に努めたか	b	節電、節水に努めた	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	作業手順をミーティングで確認した	
公平性	受益者負担は適切か	すべての受益者が事業の恩恵を公平に受けている	B	
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの食生活、食習慣の乱れと身体の発達への影響</li> <li>・学校給食を教材にした更なる食育への取り組み</li> </ul>
今後の取り組み	・村民にとって共同調理場が身近なところという意識が持てるよう取り組む